地域経済を支える港湾の既存施設の有効活用と災害対応力の強化

◆高知県内の重要港湾における岸壁の安定的な利用のための整備や大規模地震に備えた防災・減災対策の推進

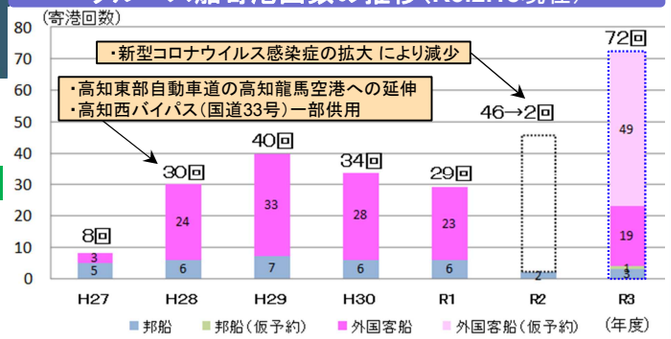
[高知港　三里地区]

◆静穏度不足により荷役障害やロープが切れる被害が発生⇒南防波堤の延伸を促進
◆地震・津波対策である三重防護の第1ラインを担う防波堤の粘り強い化・嵩上げの促進

防災・減災対策(三重防護対策)

港湾機能強化と誘致活動で、客船寄港の増加

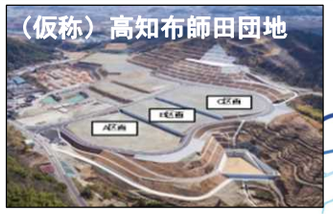
クルーズ船寄港回数の推移(R3.2.18現在)

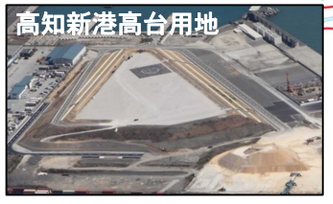


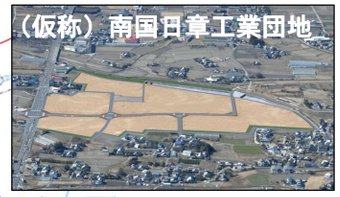
クルーズ船の寄港の増加・定着化を図っていくため、
防波堤の延伸による静穏度の確保が重要

H31.4　クルーズ船2隻同時接岸

物流機能強化による地域経済活性化







◆港の整備や道路網の充実により物流機能が強化され、港周辺では産業団地の開発が活発
◆高知南国道路の全線開通(高知IC～高知南ICがR3.2.27開通)

[須　崎　港]

◆湾口防波堤がH26.3竣工
・津波に対する安全性が格段に向上
・静穏度が向上したことにより、企業の生産活動が活発化
→H26以降港湾取扱貨物量(フェリー除く)が四国1位
→大水深岸壁(-13m)の整備が必要

[宿　毛　湾　港]

◆池島第2防波堤がR2.8竣工
・静穏度の確保により、利用船舶の安全性・利便性が向上

≪政策提言≫

・防災・減災効果を発揮するとともに、既存岸壁等を最大限に活用するためには、防波堤の整備や粘り強い化の推進が必要です。
・このためには、予算の重点配分や、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策を推進する当初予算での確保をお願いします。